

## 明日に生きる子どもたちに

校長 加藤 英仁

### ◎「1. 17は忘れない」

阪神淡路大震災が起きてから、24年の年月が流れました。本校でも阪神淡路大震災を経験していない職員や、幼くて覚えていない職員が増えました。しかしながら、経験の有無に関わらず地震の恐ろしさや地震に対する備え、心構え、避難経路、人と人の繋がり等は、しっかりと心得ておくことが大切です。それには、震災を経験した私たちが、明日に生きる子どもたちにしっかりと教訓を語り、繋いでいくことが大切です。

毎年1月17日には、震災以降毎年「1. 17は忘れない」と題して避難訓練を実施しています。昨年度は地域防災訓練のメイン会場となり、大がかりな訓練を実施しましたが、今年度は近隣の保育園と一緒に地震避難および津波避難の訓練を実施しました。「訓練のための訓練」ではなく、「子ども達が主体的に行動できる訓練」でありたいです。いつ・どこで・どのように起こるか分からない地震に対して、自分の命や友だちの命をいかに守るか…震災が起きて24年、この訓練を機会に、「命を大切にすること」に加え、「自分のことを大切にし、人の悲しみや痛みの感じられる子ども」に育てていきたいと考えます。



### ◎児童生徒文化発表会 書道展・なかよし作品展・図工展

尼崎市総合文化センターで、1月23日（水）から「尼崎市児童生徒文化発表会書道展」と「なかよし作品展」が開催されました。どの書も力強い線や伸び伸びとした線で書かれており、字形も整ったすばらしい作品ばかりでした。「なかよし作品展」には、あすなろ学級の作品を出品しました。タイトルの「どうぶつたちしゅうごう」に表れているように、どうぶつの愛らしさがよく伝わってきました。引き続き1月30日（水）からは、「尼崎市児童生徒文化発表会図工展」が開催され、本校からも1年生から6年生の平面作品、立体作品を出品しました。どれも工夫された良い作品でした。

### ◎インフルエンザの予防について

寒さが一段と増し、インフルエンザの感染が広がっています。新聞によると兵庫県内のインフルエンザの患者数が過去最多を記録し、1月末には学校園の休業が510件に達しているそうです。本校でも閉鎖をする学級が出ています。学校では日々の健康観察・手洗い・うがいの励行を指導しています。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活を心がけ、手洗い・うがいを徹底していただくようご協力よろしくお願ひします。

厚生労働省の「平成30年度インフルエンザQ&A」資料ではインフルエンザを予防する有効な方法があげられています。どうぞ、参考になさってください。

- ①流行前のワクチン接種
- ②咳エチケット
- ③適度な湿度の維持
- ④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤人混みや繁華街への外出を避ける



3学期生活目標 外で元気に遊ぼう



2月の行事予定

月	火	水	木	金	土
				1 富松の鬼 1年 地区バスケットボール大会 6年	2
4 朝会 委員会活動 諸費振替日	5	6 劇団四季鑑賞会 6年	7 児童会役員選挙	8 入学説明会	9
11 建国記念の日	12	13 参観・懇談 1～3年・あすなる	14 学級の日 参観・懇談 4・5年	15 参観・懇談 6年	16
18 クラブ活動 (最終)	19 大縄大会	20 大縄大会予備日	21 お別れ遠足 あすなる	22	23 
25 児童集会 児童会引継ぎ 委員会活動(最終)	26	27 代表委員会	28 お別れ遠足 6年		

<3月の主な行事予定> 1日(金)6年生を送る会 4日(月)交通感謝の会 6日(水)校外児童会  
7日(木)きょうだい学級交流会 18日(月)給食終了 20日(水)卒業式 25日(月)修了式

<お知らせとお願い>

●参観・懇談 ～今年度のふり返りと来年度に向けて ぜひご参加を～

13日(水)から参観と懇談を実施します。今年度最後の参観になります。生活や学習のふり返りとまとめの時期にあたり、1年間の子どもの成長の様子をご覧ください。また、懇談にもご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



●インフルエンザ等の感染症にご注意を

インフルエンザなどの感染症による欠席が増えてきています。12月号でもお知らせしましたが、引き続き手洗い・うがいの励行や十分な睡眠・栄養の確保をお願いします。さらに屋外・屋内や暖房の有無など寒暖に見合った服装、必要に応じてマスクの着用を心がけたいものです。また、インフルエンザで学校をお休みする場合は、A型かB型かもお知らせ下さい。なお、感染症による出席停止者への連絡については、今後は担任が行うこととし、子どもによる直接訪問は控えさせていただきます。ご了解の程、よろしくお願いいたします。

●児童会役員選挙

3学期は、今年度のまとめと来年度へ向けての準備の学期です。児童会役員選挙は、その一環として行われるものです。立候補者の子ども達には、高学年として学校をよりよくしていくための自覚と責任を培う絶好の機会です。また、選挙は次年度に向けリーダーとして活躍してくれる子ども達を、みんなで責任を持って選出する場でもあります。立候補者はもとより、応援演説や選挙管理、投票、役員引き継ぎ等を通して、多くの子ども達が主体的に活動に関して活躍しています。

